

バス事業の近未来を拓くー

ポストコロナの公共交通リ・デザイン

ーバス再構築に向けた計画・事業の方策

- 国土交通省の目指す方向性ー幹の交通、枝の交通、葉の交通と地域への期待
- ポストコロナのバス事業再生に向けた「公」の役割と最適な地域交通の構築方策
- 公共交通の再定義と計画論の再構築ー都市の未来を支える公共交通の描き方
- 群馬・前橋市の路線バス6社の共同運行ー前橋版MaaSと事業者連携、行政の役割

【講師陣】

- 倉石 誠司 氏 / 国土交通省総合政策局地域交通課長
- 鈴木 文彦 氏 / 交通ジャーナリスト
- 中村 文彦 氏 / 東京大学大学院新領域創成科学研究科特任教授
- 南雲 貞人 氏 / 前橋市未来創造部交通政策課交通推進室副主幹

日時・会場

2022年9月22日(木)

10:00~17:00

剛堂会館・会議室
(東京都千代田区)

時	講 義 内 容	
10:00 ~ 11:20	1. 地域交通のリ・デザイン 1. 国の目指す方向性ー「幹の交通」「枝の交通」「葉の交通」 2. 地域に期待すること	国土交通省総合政策局地域交通課長 倉石 誠司 氏 【質疑応答】
11:30 ~ 13:00	2. ポストコロナのバス交通 ~事業再生に向けた「公」の役割と地域の関わり~ 1. コロナ禍の3年間における公共交通の実態 ①輸送状況の時期ごとの変化 ②輸送モードごとの特徴と変化 ③厳しさを増す経営事情 2. コロナ禍において必死で取り組んできたこと ①バスはこんな使い方もできるという新たな発想 ②バスは安全かつ安心して利用できるアピール ③厳しい状況下で先を見据えた動き 3. コロナ禍を経て見えてきたこと ①人々の生活スタイルの変化にともなう移動ニーズの変貌 ②より深刻化しつつある担い手の不足 ③これまでの維持方策の盲点 4. 限られた資源を有効活用し最適な地域交通を構築するために ①新たなものを追加してネットワークを密にする時代ではない ②今あるものを最適化して有効活用~メリハリをつけたモード配置と財政投入 ③足りないところは地域ごとの最適モードを張りつけて全体でネットワークを ④鉄道・バス・タクシー・小規模輸送モードを上手に選択し配置する ⑤“共同経営”による最適化で公共交通の持続化の可能性 5. ポストコロナでバス事業はどう変わり、 「公」や地域はどう関わらなければならないか ①図らずもコロナで効果を発揮した山口市の包括補助 ②効果的で持続的かつみんなが納得する財政投入を~上下分離・公設民営などのあり方 ③担い手不足は地域全体の課題~新たな担い手を求めて動く地域 ④公共交通の持続はみんなが当事者意識をもって~「公」はその仕組みと機会をつくる	交通ジャーナリスト 鈴木 文彦 氏 【質疑応答】
14:00 ~ 15:30	3. 都市の未来と公共交通の再構築 1. 移動の大切さ ①個人の健康のために大切な移動 ②都市の活力のために必要な移動 2. 場の大切さ ①街路の場の機能が都市を変える ②都市の多くの場が人々を惹きつける ③場の魅力が都市にわくわくと余韻をもたらす ④多くの移動は、わくわくと余韻を支える 3. 公共交通の再定義 ①運輸事業と公共交通を区分して定義する ②公共交通は、都市のわくわくと余韻を支えることで存在価値を増す 4. 計画論の再構築 ①混雑緩和や渋滞緩和を越え、事業採算性を見つめなおす ②都市を支える交通の需要を創出する発想の取り込み ③国と地方自治体と交通サービスの間の契約、リスク分担の再整理 5. 新技術との折り合い ①ビジョン共有の上での技術論へ ②データ駆動時代での評価検証の精緻化 6. 都市の未来と公共交通~未来の都市を支える公共交通の描き方~	東京大学大学院新領域創成科学研究科特任教授 中村 文彦 氏 【質疑応答】
15:40 ~ 17:00	4. 〔群馬・前橋市〕路線バス6社の共同運行のねらいと成果 ~MaeMaaS(前橋版MaaS)実現方策と行政の役割~ 1. 前橋市の地域課題 2. バス事業者共同経営とダイヤ調整 3. 事業者間連携と行政の役割 4. 今後の展開	前橋市未来創造部交通政策課交通推進室副主幹 南雲 貞人 氏 【質疑応答】

コミュニティ交通編巻10 バス・タクシー・鉄道等々を活用した新交通まちづくり

MaaS日本版—開発・活用と地域活性の戦略

～国の推進施策と自治体・交通事業者・地域の連携、プラットフォームの構築・実装～

【本書を推薦します】(発刊時) 中村 文彦 / 横浜国立大学副学長 森本 章倫 / 早稲田大学理工学術院社会環境工学科教授 清水 弘子 / NPO法人かながわ福祉移動サービスネットワーク理事長

■体裁：A4判/222頁
 ■発刊：2019年10月4日
 ■定価：5,445円(税・送料込)
 (本体4,950円)
 ■研修会参加者特価：4,900円

第1章【基調報告】地域公共交通イノベーション推進施策 ～地域公共交通と日本型MaaSの展開～

国土交通省 城福 健陽

地域公共交通のフォローアップ/地域公共交通活性化再生法の基本スキームと進行状況/地域交通のイノベーションへの取り組み/新たなモビリティサービスとMaaS
 <参考資料> 1. 「地域交通フォローアップ・イノベーション検討会」提言概要
 2. 「都市と地方の新たなモビリティサービス懇談会」中間取りまとめ概要
 3. 新モビリティサービス推進事業「MaaS元年！先行モデル事業」19事業

第2章【報告】MaaS日本版の構築・実装・展開と交通まちづくり、西鉄のMaaS戦略

第1節 MaaSの構築から交通まちづくりへの展開 ～プレイヤーの連携と公共交通マーケティングが鍵を握る～

福島大学 吉田 樹

MaaSの一般的な成長過程/求められる公共交通マーケティングの7つの視点/「収益事業」とされてきた日本のバス事業の実態/「公共交通軸」の形成とブランディング/バス交通のプライシング/公共交通網の形成とMaaSのインパクト/自動車の運転可否と活動機会の関係性/超高齢社会のMaaSとタクシーへの期待/モビリティと「おでかけ」 「おでかけパッケージ」

第2節 MaaSが目指す世界観と交通計画への応用可能性 小田急電鉄 藤垣 洋平
 MaaSの実践例ーフィンランドのWhimー/多様なMaaSの捉え方と共通点/MaaSの発想を活用した地域公共交通計画の新展開/郊外向けMetro-MaaSの可能性

第3節 西日本鉄道のMaaS戦略 西日本鉄道 阿部 政貴
 ～マルチモーダル検索サービス(my route)の実用性検証とこれからの方向性～

ダイヤ分析・可視化プラットフォーム/トヨタ自動車様との連携 「my route」による実用性検証～民間事業者から見たMaaS実現への課題(パナール計画研究所) 関 牧村 和彦

第4節 MaaSと交通まちづくり～モビリティ革命と新都市計画～

モビリティ革命を牽引するMaaS/MaaSが都市に与えるインパクト/MaaSと新都市計画ー街路空間のリ・デザインー

第3章【パネル討論】日本型MaaSの構築と運用 ～プラットフォーム開発主体と交通事業者・行政・地域の参画・連携

司 会：吉田 樹
 パネラー：藤垣 洋平、阿部 政貴、牧村 和彦

コミュニティ交通編巻8 福祉と交通が連携した外出支援サービスとまちづくり

超高齢社会の移動手段の確保・開発戦略

～ウルトラ高齢・労働人口減少時代のバス・タクシー活用と市民参加の方策～

【本書を推薦します】(発刊時) 中村 文彦 / 横浜国立大学副学長 久保田 尚 / 埼玉大学大学院理工学研究科教授 鬼塚 正徳 / NPO法人せたがや移動ケア事務局長

■体裁：A4判/198頁
 ■発刊：2018年7月25日
 ■定価：5,445円(税・送料込)
 (本体4,950円)
 ■研修会参加者特価：4,900円



第1章 ウルトラ高齢時代の交通環境論

自由学園 溝端 光雄

ウルトラ高齢化と社会活性/歩行支援と移動手段/運転支援と移動手段/活老と近未来の地域づくり

第2章 超高齢社会に求められる地域公共交通の戦略と戦術 ～路線バスから「小さな交通」までのネットワーク化～

福島大学 吉田 樹

地方圏で懸念される交流機会の減少/地域交通政策のベンチマーク「交通政策基本法」公共交通網の軸としての「居住」/「拠点」を明確にしたネットワークの構築/誰が暮らしの足を支えるか/拡がる「ニッチ(隙間)」…「小さな交通」への期待/暮らしの足を支える起点/地域住民による「暮らしの足」の確保/「暮らしの足」としてのタクシーの選択的向上策と「運賃」/「暮らしの足」確保は「総力戦」

第3章 自家用有償運送、互助運送の活用と福祉・運輸部門との連携

近畿大学 三星 昭宏

福祉有償運送(福祉移送・自家用有償運送)サービス/地域公共交通をとりまく情勢/障害者の身体条件と交通手段/改正道路運送法(2006年施行)と自家用有償運送/枚方市の福祉移送サービスの事例と今後の課題/国土交通省「高齢者の移動手段の確保に関する検討会」中間とりまとめ等

第4章 地域交通の生き残りをかけた「貨客混載」戦略とその先 ～社会インフラとしてのバス・タクシーの限界と可能性～

交通ジャーナリスト 鈴木 文彦

なぜ、貨客混載なのか?/公共交通は社会のインフラ/複数モードのコラボレーションのこれまで/期待が高まる「貨客混載(客貨混載)」の仕組みと現状/「客貨混載」の効果・可能性と貨物車に人乗せる新たな発想/今後への展望

第5章【資料(抜粋)】国土交通省・厚生労働省の政策情報 ～高齢者の移動手段確保のための交通・福祉制度の解説～

【研修会の参加要領】

<<新型コロナウイルス感染症に伴うセミナー開催への対応について>> ■参加費(1名分)
 予防対策として、座席の間隔を空け、定期的な換気・アルコール消毒の実施等を行います。手洗いやマスク着用等にご協力下さい。

■日 時：2022年9月22日(木) 10:00～17:00

■会 場：剛堂会館・会議室案内図は申込後送付
 東京都千代田区紀尾井町3-27

■申込方法 下部の申込書に所要事項を記入の上送付下さい
 (FAX・メール等)。

	1名参加	メディア参加
行政・議員	25,000円	28,000円
一般	35,000円	38,000円

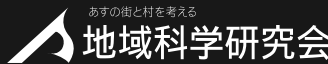
※参加費の払い戻しは致しませんので、申込まれた方のご都合が悪い場合は代理の方の出席またはメディア参加とさせていただきます。
 ※メディア参加申込の方へは、研修会開催後に音声CD(講演収録)及び資料と請求書をお送りします。

■支払方法

請求後の振込(銀行振込・郵便振替・当日払い)

みずほ銀行麹町支店 普通1159880
 三井住友銀行麹町支店 普通7411658
 三菱UFJ銀行神田支店 普通5829767
 郵便振替:00110-8-81660
 口座名: 地域科学研究会

お問い合わせ：03-3234-1231



東京千代田区平河町2-3-10ライオンズ平河町101
 TEL 03(3234)1231 FAX 03(3234)4993
 URL: http://www.chiikikagaku-k.co.jp/

【申込書 2022年 月 日】 希望欄に印を入れて下さい FAX: 03(3234)4993 MAIL: machi@chiikikagaku-k.co.jp

■研修会の参加 『ポストコロナの公共交通リ・デザイン』

□当日参加 □メディア参加

■出版物の購入 □『MaaS日本版—開発・活用と地域活性の戦略』

_____冊 □『超高齢社会の移動手段の確保・開発戦略』 _____冊

勤務先 _____ 所在地〒 _____ 連絡担当者 _____

TEL _____ FAX _____ E-mail _____

参加者氏名 _____ 所属部課役職名 _____

〈通信欄〉○をつけてください

・支払方法(銀行振込・郵便振替・当日払い)
 ・必要書類(納品書・請求書・見積書・領収書)
 請求書宛名: _____